

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和6年 10月 31日

スポーツ療育WHISTLE！（ホイッスル）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6		工作出来るスペース、カードゲームなど出来るスペースが確保してあります。
	2	職員の配置数は適切であるか	6		送迎で出ていても適切な配置である。個別支援も出来るようにしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6		玄関先にスロープ、トイレの入り口、段差のない室内となっております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		業務日誌を作成する際、職員全体で話し合う事で改善に繋がっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		アンケート結果により保護者の意向を把握し、業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		WHISTLE！のホームページにて掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	今後、外部評価を行い、改善に繋がっていきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		月1に外部、内部での研修を行い研修報告も行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		契約時に児童のアセスメントを行い、ニーズ、課題を分析し計画案を作成している。支援会議で計画の見直しを行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		6	現在、標準化されたアセスメントツールは使用しておりませんが、子どもの適応行動の把握には、日常の観察やコミュニケーションを通じて、個別の状況に応じた評価を行っております。今後、より正確な評価方法の導入についても検討していきたいと考えております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		毎月全体ミーティングで翌月、翌々日のイベントを立案、見直しを行っています。平日の活動は朝礼時に共有しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		職員全員で日替わりの活動を計画しているため固定化しないようにしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6		長期休み、休日利用時に、昼食づくりや社会見学等、児童に合わせた課題が取り組めるように企画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6		指導員らで共有し、児童の発達に合わせた計画を策定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		ホワイトボードに役割を書き、支援前に分担の確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		送迎後に活動や児童の振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6		児童の様子を記録し、情報共有することで今後に繋がっています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6		半年に1度モニタリングを行い、目標・課題の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6		支援が単一のアプローチに偏らず、包括的かつ多面的で個々のニーズに合った支援を提供できるよう努めております。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6		支援級の担任から申し送りがあるため、職員で共有しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		6	医ケア児の受け入れは行っておりません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6		相談員さんを通して過去の情報を聞き、児童の情報を得ています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6		卒業する児童がいないため連携は取れていないですが、今後は視野に入れ行きたいです。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	5	日々の支援においては、子ども一人ひとりのニーズに応じた個別支援に注力しておりますが、今後より専門的な知識やスキルの向上を図るため、外部の専門機関との連携や研修の導入についても積極的に検討してまいりたいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6		地域交流(子ども食堂)、サッカークラブ等、交流を行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		6	今後、地域との連携をさらに深め、支援体制を強化するために、協議会等への参加を検討していきたいと考えております。地域の支援ニーズに応えるべく、貢献できる方法を模索してまいります。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		帰りの送迎時に保護者に申し送りを行っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6		お茶会、保護者会を開いて話をする機会を作っています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		契約時に運営規定、支援の内容、利用者負担、災害時について説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		相談にはその都度応じています。電話以外にLINE等使って常時、連絡が出来るようにしています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		お茶会、保護者会を開いて話をする機会を作っています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		苦情窓口は契約時に案内しており、迅速に対応できるようにしています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		月のおたより、イベント案内を作成し保護者に発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	6		鍵付きのロッカーに保管しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		個々のニーズに応じた配慮を行っております。保護者の方には定期的にお子さまの状況をわかりやすく報告するよう心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		6	現在、地域住民を招いた行事の開催などは行っておりませんが、今後は地域とのつながりを大切にし、地域住民の方々と積極的に交流できる機会を作りたいと考えております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		契約時に保護者に伝え、月のおたよりもマニュアルの周知をしています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6		年に2回火災、地震、水害の避難訓練を行い保護者に連絡（テストメール）をしています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		虐待防止委員会を設置し虐待についての研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6		身体拘束の適正化のための指針より組織的に決定しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6		全スタッフがアレルギー対応についての指導を受けており、日常的に子どもの安全を最優先に考えた対応を徹底しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		ヒヤリハット事例はその日に作成し、翌日に全体で共有し改善に繋げています。